

《近隣施設情報》

山手エリアには、無料で館内を公開している山手西洋館以外にも、文学館や記念館等の多くの文化施設や、お買い物を楽しめるショッピングストリートがあります。



⑩元町公園弓道場

昭和6(1931)年に建てられた横浜市内で最も古い弓道場です。



⑪アメリカ山公園

元町・中華街駅と山手エリアをエレベーターで繋ぐ全国初の立体都市公園。山手散歩の際は、ここからのスタートが便利です。



⑫岩崎博物館(ゲート座記念)

開港期の西洋劇場ゲート座跡に建つ服飾資料館。ギャラリー、ホールでは様々なイベントを開催しています。



⑬神奈川近代文学館

日本近代文学の博物館、専門図書館、イベントホールなどを併せ持つ文学の総合ミュージアムです。



⑭大佛次郎記念館

1978年に開館した横浜ゆかりの作家「大佛次郎」の実績と生涯を様々な資料で紹介する文学館です。



⑮元町ショッピングストリート

全国有数のファッション街として、専門店ならではの個性ある魅力をもってトレンド発信し続ける、石畳の美しいストリート。

《山手西洋館グッズ》

山手西洋館オリジナルグッズを各館で販売しています。旅の記念に、友人や家族へのお土産にいかがですか？
※山手234番館では全てのグッズを取り扱っています。※令和5年4月現在の価格

(税込価格)



いちごチョコ(2種類)
各700円



西洋館プチチョコ(3種類)
380円



西洋館クッキー
900円



ローズドロップ
330円



ローズティー
280円



一筆箋
450円



付箋(3種類)
各490円



ミニファイル(3種類)
各320円



絵はがき7枚セット
520円



絵はがき8枚セット
560円



ポーチ
1100円



オリジナルハンカチ
各560円

令和5年4月発行

山手 お散歩ナビ

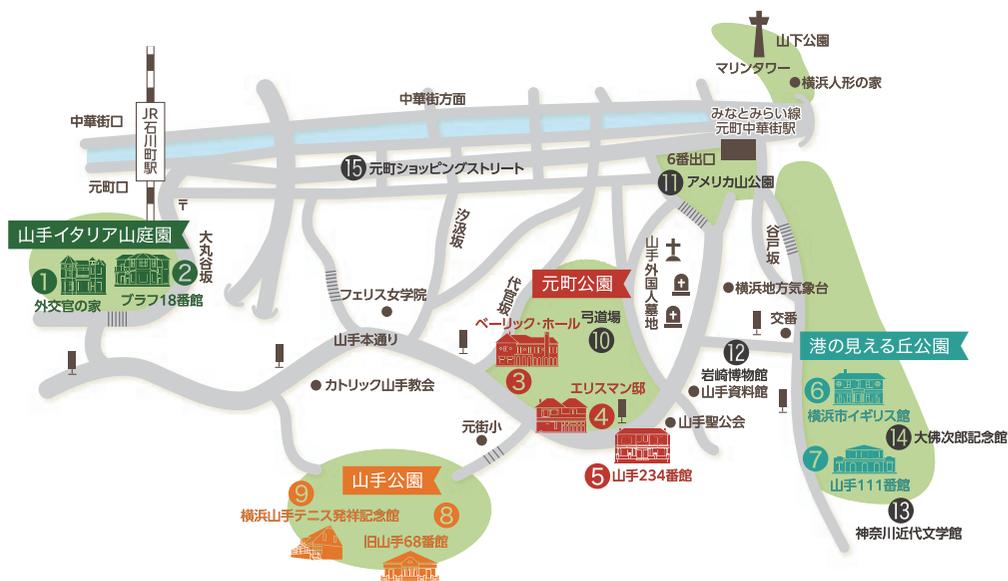
Yamate Osanpo Navi



公益財団法人 横浜市緑の協会

山手お散歩ナビ

横浜山手エリアには、明治・大正・昭和初期に建てられ一般公開されている西洋館8館と、テニス発祥記念館があり、今もなお外国人居住地の面影を残しています。緑豊かな公園の中に佇む洋館を巡りながら、季節を感じてみませんか？



【山手西洋館】

山手イタリア山庭園

- ① 外交官の家
- ② プラフ18番館

元町公園

- ③ ベーリック・ホール
- ④ エリスマン邸
- ⑤ 山手234番館

【近隣施設】

- ⑩ 元町公園弓道場
- ⑪ アメリカ山公園
- ⑫ 岩崎博物館
(ゲーテ座記念)

港の見える丘公園

- ⑥ 横浜市イギリス館
- ⑦ 山手111番館

山手公園

- ⑧ 旧山手68番館
- ⑨ 横浜山手
テニス発祥記念館

- ⑬ 神奈川近代文学館
- ⑭ 大佛次郎記念館
- ⑮ 元町ショッピング
ストリート



四季の草花と一緒に横浜を一望

山手イタリア山庭園

明治13(1880)年から明治19(1886)年まで、イタリア領事館がおかれたことから「イタリア山」と呼ばれています。イタリアで多く見られる庭園様式を模し、水や花壇を幾何学的に配したデザインの公園で、整形花壇では四季折々の花を見ることが出来ます。また、テラスからは横浜ベイブリッジやみなとみらい21を一望することができ、写真や絵画のモチーフとして人々に親しまれています。



① 外交官の家 (国重要文化財)

横浜市中区山手町16 TEL 045-662-8819 ※喫茶コーナーあり

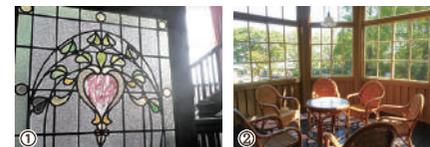
The Home of a Diplomat



明治43(1910)年に、ニューヨーク総領事やトルコ特命全権大使などを務めた明治政府の外交官・内田定榎邸として、アメリカ人建築家J.M.ガーディナーの設計により、東京都渋谷区南平台に建てられたものです。平成9(1997)年にこの地に移築復原された建物は、木造2階建・塔屋付でアメリカン・ウィクトリアン様式を基本としています。

① ステンドグラス

玄関ホールの扉をはじめ大客間、ダイニングルームなどに7枚のステンドグラスがあります。



② サンルーム

夏は涼しく、冬は暖かいサンルームは家族のくつろぎの場でもありました。



③ 客間

たくさんのお客様をお迎えする場として2つの客間があります。

④ 八角部屋

内田定榎夫人が好きな部屋は、ドラマ化されたコミック「のだめカンタービレ」にも登場しています。

⑤ プラフ・ガーデンカフェ

庭園やみなとみらいを眺めながら軽食やケーキを楽しめるカフェです。

(店内19席) TEL:070-6637-9125

※テラスでも召し上がれます。

<https://cafe.hillsidegarden.jp/bluffgardencafe/>



山手イタリア山庭園

② ブラフ18番館 (横浜市認定歴史的建造物)

横浜市中区山手町16 TEL 045-662-6318

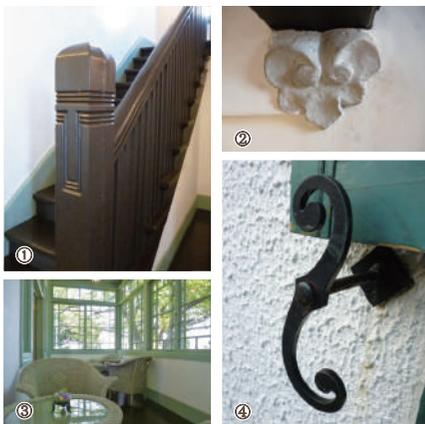
Bluff No.18



大正末期に建てられた外国人住宅で、戦後はカトリック山手教会の司祭館として平成3(1991)年まで使用されていました。平成5(1993)年イタリア山庭園内に移築復元され、館内では関東大震災復興期(大正末期～昭和初期)の暮らしを再現し、当時の横浜家具を復元展示しています。

① 階段の親柱と手すり

創建当時の部材をそのまま使用。親柱には幾何学的な模様を彫刻がほどこされています。



② 漆喰飾り

階段踊場下にあるかわいい漆喰の縁止め飾りが目を引きます。

③ サンプルーム

明るい陽射しが差し込む手吹きガラスの窓は、日本家屋の縁側のような引き違い戸になっています。

④ トンボ

錠戸の止め金具(トンボ)はブラフ18番館独特のデザインです。

山手西洋館季節のイベント

6月 花と器のハーモニー

フラワーアーティストや華道家、テーブルコーディネーターなど様々な分野で活躍するアーティストが、館内やテーブルを花と器で美しく装飾します。



貴重な歴史が残る緑豊かな公園

元町公園

元町から山手にかけての谷戸と呼ばれる地形に位置し、谷側には、良質な湧水を利用した史跡群、丘の上には、歴史的建造物でもある横浜山手西洋館が立ち並びます。緑豊かな園内には水景施設もあり、市民が憩う開放的な空間が広がっています。

山手外国人墓地



③ ベリック・ホール (横浜市認定歴史的建造物)

横浜市中区山手町72 TEL 045-663-5685

Berrick Hall



イギリス人貿易商B.R.ベリック氏の邸宅として、J.H.モーガンの設計により昭和5(1930)年に建てられました。スパニッシュスタイルを基調とし、現存する戦前の山手外国人住宅としては最大規模を誇る建築学的にも価値がある建物です。

① 壁泉

ライオンの頭部彫刻の吐水口のある壁泉は、明るいパームルームと南テラスに設けられています。

② 呼鈴の受信装置箱

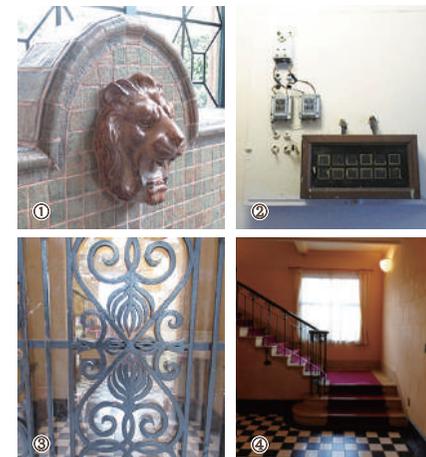
玄関ポーチほか各居室に呼鈴装置が備えられ、受信装置箱が配膳室に設置されています。

③ アイアンワーク

玄関扉や階段手摺りのアイアンワークがとても素敵です。

④ 白黒タイル

廊下の白黒タイルは創建当時のままで、縁どりには蛇紋岩が使用されています。パームルームや浴室にもあります。



④ エリスマン邸

(横浜市認定歴史的建造物)

横浜市中央区元町1-77-4 TEL 045-211-1101 ※喫茶コーナーあり

Christmann Residence



日本の建築界に大きな影響を与え、「日本の近代建築の父」と呼ばれたA.レーモンドの設計。横浜の大きな生糸貿易商シーベルヘグナー商会の支配人であったエリスマン氏の私邸として大正15(1926)年に山手町127番地に建築されました。現在の元町公園には平成2(1990)年に移築復元されています。

①家具を再現

設計者レーモンドデザインの家具を再現。直線的なデザインが建物と合っています。

②格子柄の小窓

玄関ポーチから見た小窓に取り付けてある真鍮製の面格子。

③大谷石の暖炉

マンテルピースに貼られた大谷石の合わせ目のスタッズは設計者こだわりのデザインです。

④カットガラスのドアノブ

建具のドアノブは、場所によって真鍮製、ガラス製と使い分けられています。

⑤Café Ehrismann (カフェ エリスマン)

大正ロマンを感じながら、気品あふれる食器とともに、軽食、コーヒーやデザートが楽しめるカフェです。(店内18席)
TEL 080-7067-7056
<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/yamate-seiyokan/ehrisman/cafephp>



⑤ 山手234番館

(横浜市認定歴史的建造物)

横浜市中央区山手町234-1 TEL 045-625-9393

Bluff No.234



朝香吉蔵の設計により昭和2(1927)年頃に建築された外国人向けの共同住宅です。従来は4つの同一形式の住戸が中央の玄関ポーチを挟んで、左右対称に向かい合い、上下に重なっていました。現在では、2階はギャラリー展示や会議などに利用されています。

①4つのドア

中央部の玄関ポーチに配置された4つのドア。これらはこの建物が、集合住宅として建築された名残です。各玄関ドアから直接住居につながっていました。

②光庭(ひかりにわ)

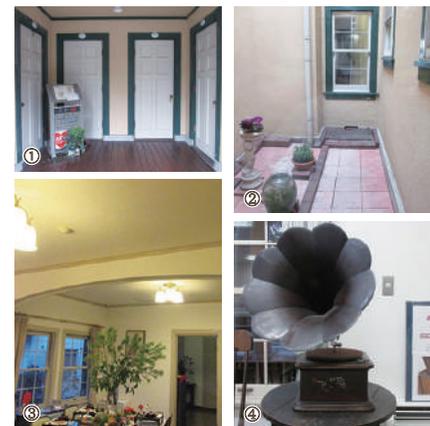
建物中央の光庭は、とても機能的な空間です。細長い住居に光と風を取り入れています。

③居間のアーチ

アーチの幅はおよそ20センチで、2本の柱をつなげているようなデザインです。緩やかに居間とダイニングに区切っています。

④蓄音器

山手234番館には貴重な蓄音器が寄贈されています。定期的に蓄音器コンサートを開催しています。



山手西洋館季節のイベント

10月 ハロウィンウォーク



10月中旬頃から山手西洋館の館内をハロウィン装飾します。また、10月最後の日曜日には、山手西洋館や山手公園、周辺施設を巡るスタンプラリーや仮装コンテスト等を開催します。



横浜随一の展望と美しいバラが魅力

港の見える丘公園

1962年に開園した都市公園です。山下公園と並ぶ横浜を代表する公園で、四季を通して花にあふれています。展望台からの眺めは横浜随一で、横浜港やベイブリッジ、ランドマークタワーも一望できます。園内のバラも見事です。



港の見える丘公園

⑥横浜市イギリス館 (横浜市指定文化財)

横浜市中区山手町115-3 TEL 045-623-7812

British House Yokohama



昭和12(1937)年に上海の大英工部総署の設計によって、英国総領事公邸として建築された建物で、東アジアにある領事公邸の中でも上位に格付けられていました。近代主義を基調としたモダンな形と伝統を加味した重厚な美しさは、当時の大英帝国の風格をよく表しています。

①丸窓

シンメトリーの建築が際立つデザインで、2階の両端にある窓からは、美しい光が差し込みます。

②王冠入りの銘板

玄関の左側に刻まれた「ジョージ6世時代」を示す紋章からは、大英帝国の威厳を感じます。

③貸出ホール

60人収容のコンサートホールとして、横浜市民に広く利用されています。

④キッチン

1937年建築当時の面影を最も残す厨房はセピア色のタイルが時を刻んでいます。



⑦山手111番館 (横浜市指定文化財)

横浜市中区山手町111 TEL 045-623-2957 ※喫茶コーナーあり

Bluff No.111



J.H.モーガンの設計により大正15(1926)年に、アメリカ人J.E.ラフィン氏の住宅として現在地に建てられた、スパニッシュスタイルの赤瓦と白い壁が美しい西洋館です。建物の中心にある吹抜けの空間は、館の大きな特徴の1つです。

①配膳室の棚

厨房と配膳室にある作り付けの戸棚は、創建当時のものと思われ趣があります。

②浴室のタイル

腰壁の108mmの角タイルと床の六角形のモザイクタイルの一部は創建当時のものでたいへん貴重です。

③収納スペース

館の中には収納の工夫があちこちに見られます。

④暖炉

ホールの暖炉の後ろには背中合わせにもう一つ暖炉があります。1つの煙突を2つの暖炉でシェアしています。

⑤カフェ・ザ・ローズ

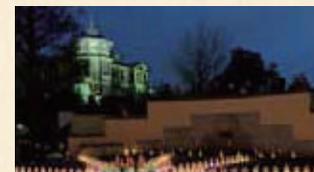
ローズガーデンを見下ろす開放感あふれる空間。ローズのフレイバーパーティーはお土産にも人気です。(店内30席) TEL:045-622-3332 ※テラスでも召し上がれます。
<https://cafe.hillsidegarden.jp/cafeherose/>



山手西洋館季節のイベント

12月 世界のクリスマス

12月1日～25日の25日間開催します。各館でテーマ国を決め、クリスマス装飾や講座、コンサート等でその国の歴史や文化を紹介します。また12月第3土曜日頃には、山手イタリヤ山庭園で約2000個のキャンドルを灯すキャンドルガーデンを行います。



山手公園

明治3(1870)年に、居留地に住む外国人によって造られた日本初の洋式公園です。平成16(2004)年に国の名勝に指定され、平成21(2009)年には、経済産業省より「近代化産業遺産」に認定されました。ヒマラヤスギやクスノキを初めとした大木による深い緑に包まれています。



⑨横浜山手テニス発祥記念館

横浜市中区山手町230 TEL 045-681-8646

Yokohama Yamate Museum of Tennis

⑧旧山手68番館 (横浜市登録歴史的建造物)

横浜市中区山手町230 TEL 045-641-1971

Bluff No.68



昭和9(1934)年、関東大震災後に外国人向けの貸家の一つとして建てられました。かつては山手68番地にあり、昭和61(1986)年に現在地に移築されました。現在は山手公園管理センターとして、またレストハウスとして利用されています。

①展示室

山手公園の歴史がわかる貴重な資料を展示しています。



②地図

明治3年開園当時の地図。現在と地形が変わらず、ほとんど同じであることがよくわかります。

③宮沢賢治のバラ

宮沢賢治が昭和4年に横浜の輸入商から購入したバラの子孫が植えられています。(グルス アン テプリッツ)



④ガストープ

レトロなガストープは、実際に使用しています。



近代世界文化への窓口として開かれた横浜の居留地の生活文化と日本テニスの歴史が一体となった日本でたった一つの資料館です。ラケット以前に使用されていた革手袋・バンブーラケット・テニスボックスなど希少価値の高いものが数多く展示されています。

①体験コーナー「さわれるラケット」

昔のラケットを実際にさわって、その重さを体験してみてください。



②スカート吊り上げ器

山手でテニスが始まった頃、女性は散歩着(バスルスタイル)でプレーしました。裾を踏まないように「スカート吊り上げ器」を使っていました。



③浮世絵をもとにしたステンドグラス

外国人女性がテニスをする風景をステンドグラスにして展示しています。(早川松山画の浮世絵をもとに作成)



④初代「君が代」を聴く

初代「君が代」をご存知ですか?実際に聴くことができます。現在の「君が代」と比べてみてください。



山手西洋館季節のイベント

2月 横浜山手芸術祭



西洋館をはじめ周辺の施設や地域の人々が協力し、展示やコンサートを開催します。文化芸術活動の発表の場として、通常は貸出していない山手西洋館の部屋も会場になります。

